

研究要旨

放射線治療専門医のあるべき教育体制を探索するために、現在学会等が提供している各種教育ツールについて、利用アンケートをおこない、課題を抽出して改善案を提言する

A. 研究目的

学会が学会員に対して提供している教育ツールについて、利用アンケートをおこない、課題を抽出して改善案を提言する。

B. 研究方法

研究協力者と、メール会議を実施した。本研究を実施する対象者、必要なアンケート項目を検討した。また、具体的なアンケート実施方法、解析方法、他の研究分担者の実施するアンケートとの設問摺合せの可能性についても検討した。

C. 研究結果

具体的なアンケート実施方法について下記を決定した。

対象：日本放射線腫瘍学会の医師正会員

形式：無記名WEBアンケート

周知：メーリングリストでアンケートフォームを送付。

設問内容：

- 1) 属性（性別、年齢層、専門医取得の有無、勤務形態、勤務先病院の規模、治療人数、所在県）、
- 2) 学会の提供する教育ツールに関する認知度、利用頻度、満足度、改善点、
- 3) 新たに希望する教育ツール

D. 考察

データ解析において、
1) の差異によって、2) へのアクセス頻度等に大きな差が出る場合は、教育機会の均てん化の妨げとなっている要因を検討する必要がある。3) の結果から、学会員の希望する新たな教育ツールを提案する必要がある。特にCOVID-19の蔓延後、セミナーも全てオンライン形式となったが、終息後もオンライン開催が最適な開催形式であるかどうか検討する必要がある

E. 結論

令和4年度にアンケートを実施し、解析し、する予定である。

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし